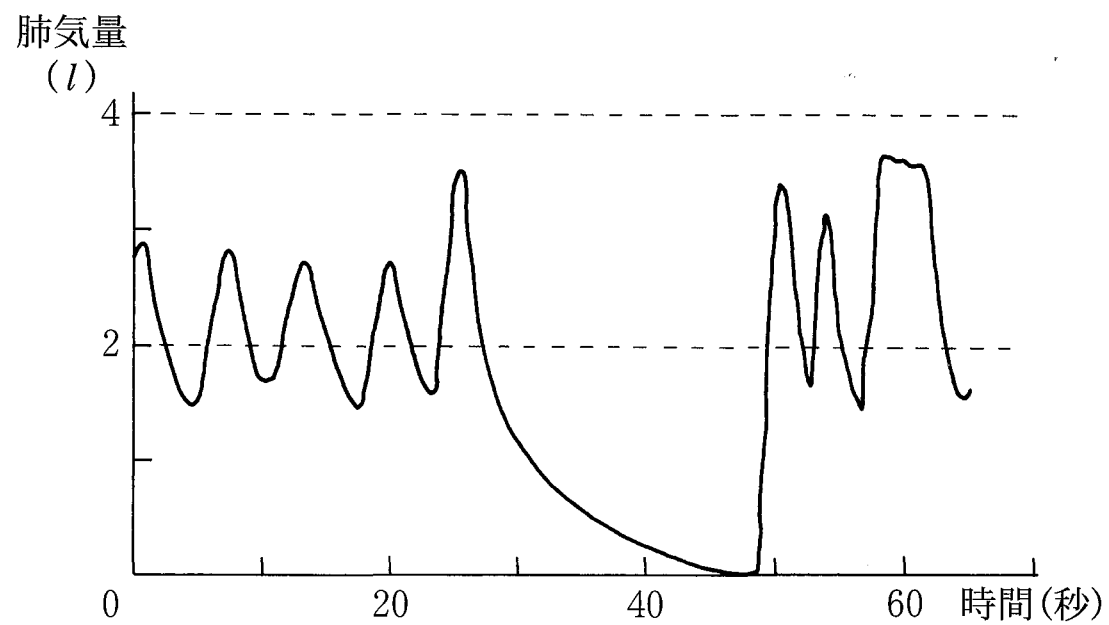


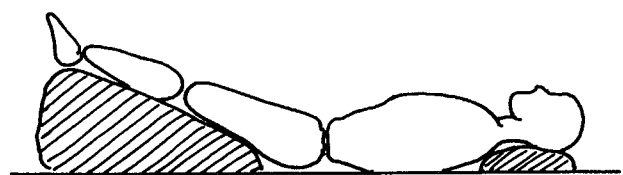
21 72歳の男性。肺機能検査の結果を図に示す。

正しいのはどれか。

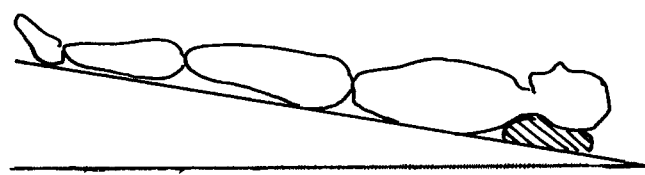


1. フローボリューム曲線である。
2. 1回換気量は約2.8lである。
3. 予備吸気量は約2.2lである。
4. 肺活量は減少している。
5. 1秒率は低下している。

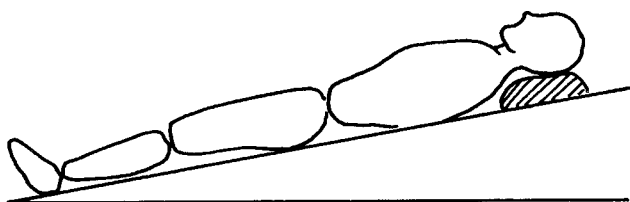
22 喘鳴をきたしている心不全の患者に適した体位はどれか。



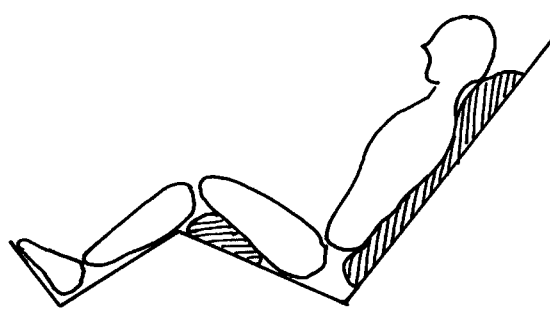
1



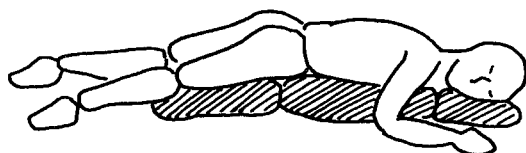
2



3

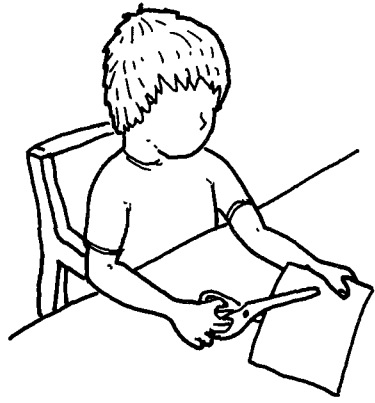


4

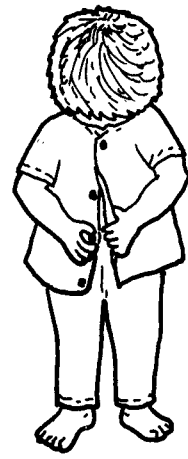


5

23 遠城寺式乳幼児分析的発達検査による正常発達で最も年少のレベルはどれか。



1



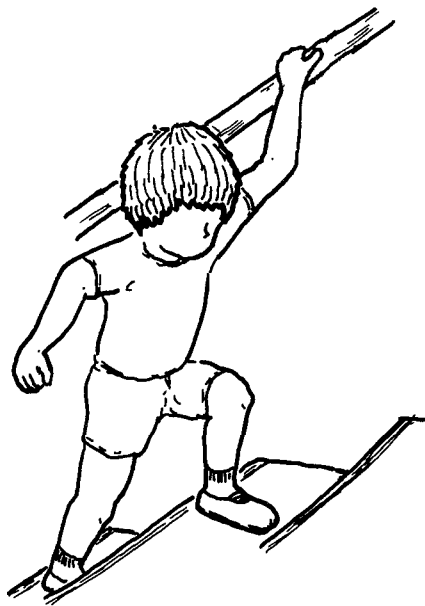
2



3

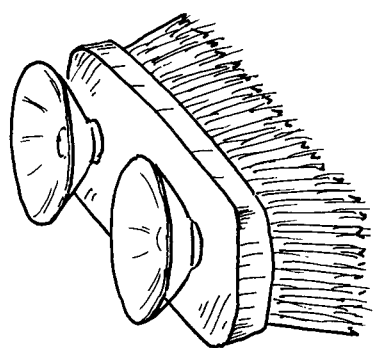


4

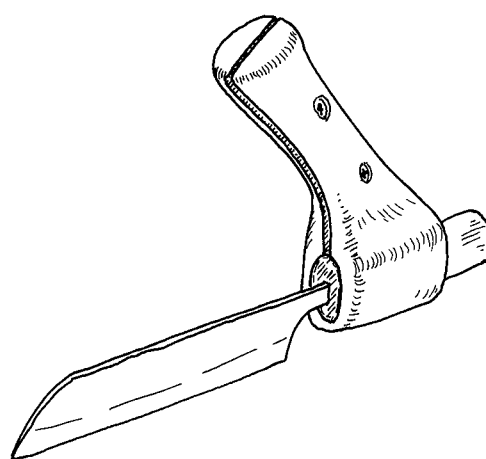


5

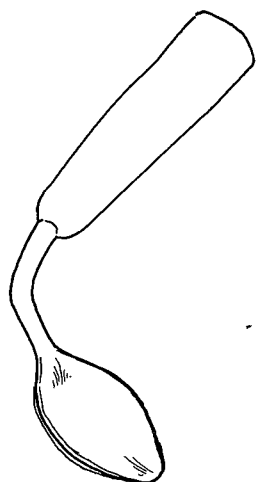
24 重度片麻痺患者が使用する道具で適切なのはどれか。



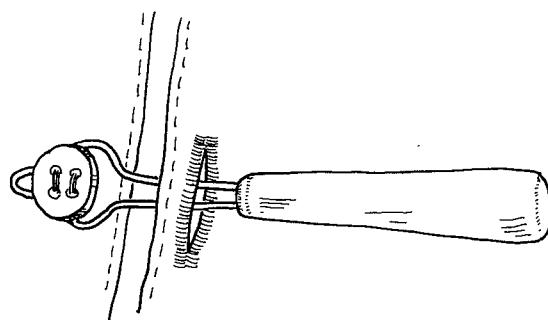
1



2



3

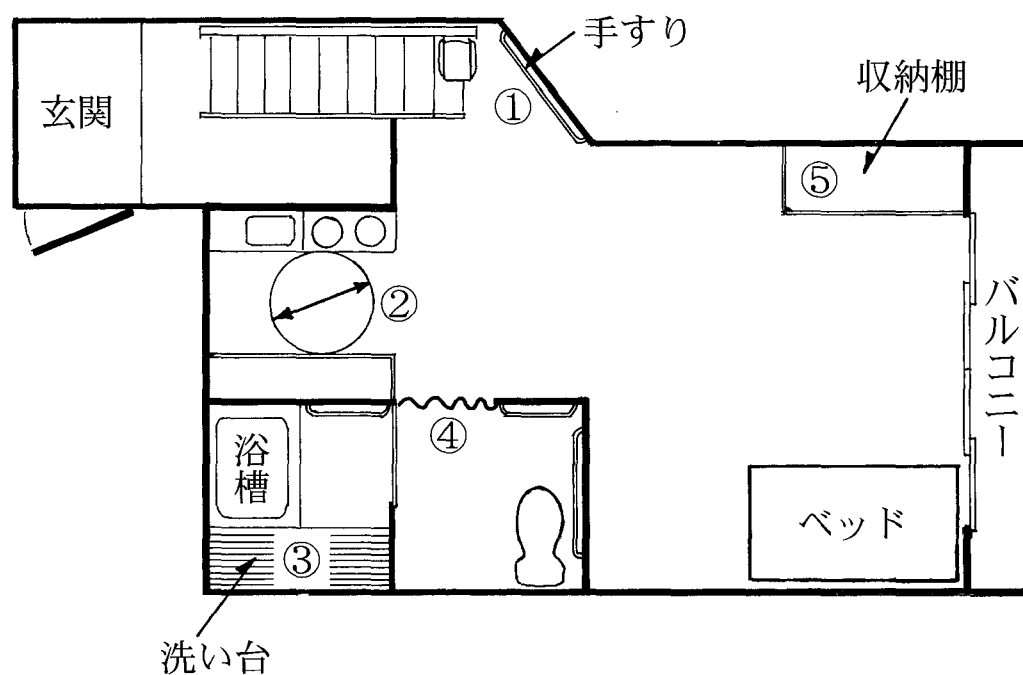


4



5

25 65歳の女性。脊髄損傷(第10胸髄節まで機能残存)。1階は店舗のため、階段に昇降機を設置することとした。普通型車椅子での生活に必要な家屋改造計画を図に示す。適切なのはどれか。



1. ①高さ 100~120 cm
2. ②直径 90~120 cm
3. ③高さ 40~45 cm
4. ④幅 70~80 cm
5. ⑤高さ 80~170 cm

次の文により 26、27 の問いに答えよ。

48 歳の男性。妻と 2 人暮らし。会社の営業課長をしていたが、重要な打合せを忘れたり、得意先へ行く道を迷ったりするようになり、妻の勧めで物忘れ外来を受診した。頭部 MRI で脳萎縮が認められ、作業療法が処方された。

26 作業療法開始時の目的で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 休息の促し
2. 不安の軽減
3. 仕事の継続
4. 他者との交流
5. 自己認識の向上

27 妻への支援で適切でないのはどれか。

1. 疾病教育を行う。
2. 生活環境を変える。
3. 夫への接し方を説明する。
4. 妻の余暇時間を確保する。
5. 利用できるサービスを紹介する。

次の文により 28、29 の問いに答えよ。

53歳の男性。理容師。先輩からの勧めで同業者組合の役員となっから、生来の気の弱さも手伝って飲酒量が増え、仕事ができなくなり入院した。振戦せん妄もおさまり作業療法が処方された。

28 初回面接時の観察で重要なのはどれか。2つ選べ。

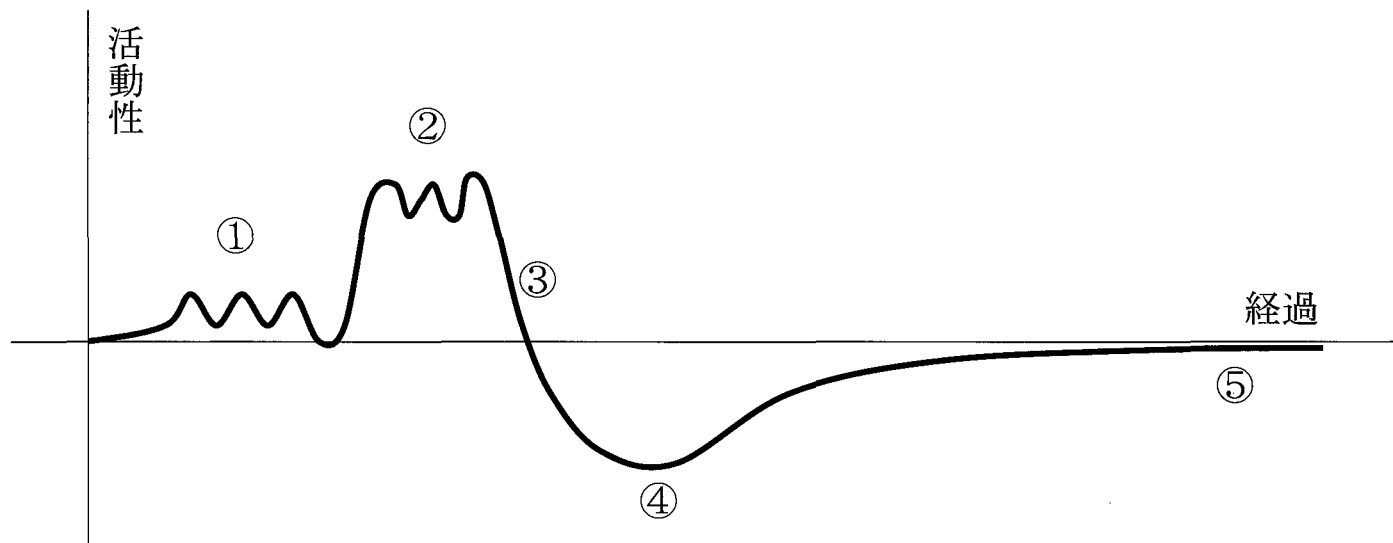
1. 記銘力
2. 見当識
3. 眼球運動
4. 手指巧緻性
5. 言語流暢性

29 この患者の作業中にみられる特徴はどれか。

1. 作業への抵抗
2. 道具への執着
3. 治療者への依存
4. 周囲への気遣い
5. 要求水準が高い

30 統合失調症の一般的な回復経過を図に示す。

「夜寝ても昼寝をしたくなる」、「やる気がおきない」、「疲れやすい」と訴える患者の時期はどれか。



1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

31 20歳の男性。統合失調症。1週前、精神運動興奮にて精神科病院を受診して入院した。入院後、「盗聴器が仕掛けられている。お前は駄目だという声が聞こえるので不安で落ち着かない」と言う。

この症状はどれか。2つ選べ。

1. 幻聴
2. 強迫観念
3. 被害妄想
4. 作為体験
5. 感情鈍麻

次の文により 32、33 の問いに答えよ。

26 歳の男性。統合失調症。大学卒業後、会社に就職し営業の仕事で出張することが多かった。出張途中の飛行機で突然耳鳴りがし、やがて幻聴に変わっていったのをきっかけに精神科病院に入院した。薬物療法によって症状が落ち着いたので、2 か月後に復職を目指して作業療法を開始した。

32 この時点での作業療法評価で優先されるのはどれか。

1. 余暇活動
2. 集団内行動
3. 金銭管理能力
4. 作業遂行能力
5. 交通機関の利用

33 復職に向けて本人と職場の上司とを交えた面接を行うこととなった。

その時の作業療法士の対応で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 病気の特徴を説明する。
2. 上司に服薬管理を依頼する。
3. 困った時の相談相手を決める。
4. 他者との共同作業を提案する。
5. 病前と同じ業務の継続を依頼する。

次の文により 34、35 の問いに答えよ。

48 歳の男性。市役所に勤務。住民の苦情に対応する業務に就いたころから、不眠、食欲不振、意欲低下および思考抑制が始まった。3 か月間の休職を取り自宅療養をしていたが「自分は役に立たない」と言い、希死念慮を認めたため入院となり、2 週後から作業療法が開始された。

34 作業療法の初期評価で把握すべき内容として適切でないのはどれか。

1. 興味関心
2. 身体症状の有無
3. 病前の生活状況
4. 現在の睡眠状態
5. 集団への参加技能

35 作業療法導入時の留意点はどれか。

1. 得意であった作業を導入する。
2. 他者との交流を促す。
3. 休息の取り方を練習する。
4. 病気の体験を言語化する。
5. 自己決定の機会を増やす。

次の文により 36、37 の問いに答えよ。

24歳の女性。幼少時に母親から虐待を受けていた。高校中退後から仕事を転々としている。男性との関係は不安定で別れ話のたびに大量服薬を繰り返した。いつもむなしくて死にたい気持ちがあると自覚して、精神科クリニックを受診した。

36 この患者にみられない特徴はどれか。

1. 理想化
2. 行動化
3. 身体化
4. 物盗られ妄想
5. ストーカー行為

37 この患者の作業療法で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 退行の促進
2. 枠組みの提供
3. 依存欲求の促進
4. 衝動の適応的発散
5. 失敗しない作業の提供

次の文により 38、39 の問いに答えよ。

20 歳の男性。広汎性発達障害。高校の普通科を卒業後、工場に就職するが職場で上司に指示されたことが途中で変更になったことで怒ったり、昼休みの同僚との会話からトラブルとなったりして退職した。その後、抑うつ的な状態が続き、精神科受診となった。

38 この患者の行動特性はどれか。2つ選べ。

1. 場の雰囲気を読み取ることが苦手である。
2. 順番を待つことができない。
3. 新しいことが覚えられない。
4. 不測の事態に対応できない。
5. 常に落ち着きがない。

39 この患者への作業療法の目的で最も適切なのはどれか。

1. 体力の向上
2. 自尊心の回復
3. 見当識の改善
4. 行動の自己洞察
5. 生活リズムの回復

40 33歳の男性。てんかん。IQ75。仕事を何度も替えている。母親への依存が強く何事も相談しないと始めない。発作再発で入院したが、処方薬の調整も済んで退院を目的として作業療法が開始された。開始して間もなく「口の中でコーヒーの味がしてくる」と訴えた。

このときの対処で適切なのはどれか。

1. 作業を続けさせる。
2. 母親へ電話をかけさせる。
3. 横に寝かせて安静を保つ。
4. 緊張緩和のために話しかける。
5. 不快感をとるためにうがいをさせる。

41 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)の運動と基本軸との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肩甲帯挙上————第7頸椎棘突起を通る水平線
2. 肩関節水平屈曲————肩峰を通る矢状面への垂直線
3. 手関節伸展————尺骨
4. 母指中手指節関節屈曲————第1中手骨
5. 第2指外転————第2中手骨延長線

42 小脳性失調の評価と症候との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 書字————小字症
2. 構音————断綴性発語
3. 指鼻試験————測定過小
4. 深部腱反射————亢進
5. Romberg試験————陽性

43 ADL評価について正しいのはどれか。

1. Barthel indexで50点ならセルフケアは要監視水準である。
2. FIMの項目で3点なら部分介助である。
3. Wee FIMの項目で10点なら完全自立である。
4. 痴呆性老人の日常生活自立度判定基準ではランクIは全介助である。
5. 障害老人の日常生活自立度判定基準ではランクAが自立である。

44 FIM で車椅子からベッドへの移乗が5点なのはどれか。

1. 介助バーを用いて移乗する。
2. 腰ひもで誘導が必要である。
3. 立ち上がり時に引き上げる。
4. ふらつかないように介助する。
5. 車椅子の位置決めを介助する。

45 改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)の評価に含まれるのはどれか。2つ選べ。

1. 見当識
2. 読み書き
3. 遂行機能
4. 構成行為
5. 記憶・記銘

46 Brunnstrom 法ステージ上肢Ⅲの片麻痺患者。

ステージⅣを目標とした上肢運動で正しいのはどれか。

1. 肘関節伸展位で上肢を頭上まで挙上
2. 肘関節屈曲 90°での前腕の回内と回外
3. 肘関節伸展・前腕回内位で肩関節外転 90°
4. 肘関節屈曲と同時に肩関節の屈曲・内転
5. 肘関節伸展と屈曲運動を 20 秒間に 10 回反復

47 脳血管障害片麻痺患者の更衣指導で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 靴下は座位ではく。
2. 靴下の着脱の導入はソックスエイドを用いる。
3. 下衣は非麻痺側下肢から先に通す。
4. 前開き式上衣は先に麻痺側の上肢を通す。
5. かぶり式上衣は先に非麻痺側の上肢を通す。

48 外傷性脳損傷後の障害と訓練・対応との組合せで適切なのはどれか。

1. 記憶障害——作業工程が多い種目とする。
2. 半側空間無視——無視側からの刺激を多くする。
3. 注意障害——作業工程の展開を速くする。
4. 遂行機能障害——毎回新しい作業活動を準備する。
5. 社会的行動障害——新しい集団への参加を促す。

49 1～40までの数字が縦10、横20の升目の中にランダムに並んでいる紙を使って、注意障害に対するアプローチを行うときに、課題と治療目的との組合せで適切なのはどれか。

ア. 「偶数で20以下」に○——選択性

イ. 「1の位が7」に○、「1の位が9」に△——持続性

ウ. 一定時間内にできるだけ多く「4の倍数」に○——多方向性

エ. 隣り合う数字を足して「30を越えたとき」に○——感度

オ. 「3の倍数」に○、「5の倍数」に△を一定時間ごとに反復——転導性

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

50 単純ヘルペスウイルス脳炎後の患者。意識は清明で日常会話は可能である。

残存症状として可能性の高いのはどれか。

1. 流暢性の低下
2. 記銘力の低下
3. 拮抗失行
4. 相貌失認
5. 半側空間無視

51 歩行に介助が必要な Parkinson 病患者の指導で適切なのはどれか。

1. 段差はスロープにする。
2. 居室に厚めのじゅうたんを敷く。
3. 歩行リズムに合わせて声かけをする。
4. すくみ足には両手を引いて下肢の振り出しを導く。
5. 自主訓練として立位での体幹前後屈運動を指導する。

52 筋萎縮性側索硬化症患者に**必要でない**のはどれか。

1. 自己導尿セット
2. 手関節固定装具
3. 頭部懸垂型保持装具
4. ベルクロファスナー付き衣服
5. ポータブルスプリングバランサー (PSB)

53 多発性硬化症患者の寛解期での生活指導で**適切でない**のはどれか。

1. 残業時間の短縮
2. 浴室温度の管理
3. 電気毛布の使用
4. 海水浴での日焼け防止
5. ゆっくりした散歩の推奨

54 頸髄損傷の残存機能レベルと機器との組合せで**適切な**のはどれか。

1. C4 ————環境制御装置
2. C5 ————ノブ型ハンドル回旋装置
3. C6 ————食事介助ロボット
4. C7 ————走査式書字装置
5. C8 ————ベッド移乗用リフター

55 頸髄損傷(第5頸髄節まで機能残存)で**可能な**のはどれか。 **2つ**選べ。

1. 座薬挿入器を使用した排便
2. ノブ付ハンドリムでの車椅子駆動
3. 頭上へリーチするための肘関節の伸展
4. 手関節駆動式把持装具で握らせたスプーンでの食事
5. ベッド上背臥位からの介助ロープを使った起き上がり

56 末梢神経麻痺と治療との組合せで正しいのはどれか。

1. 後骨間神経麻痺——手背橈側の知覚再教育
2. 前骨間神経麻痺——パーティクル・テクスチャーでの脱過敏療法
3. 正中神経高位麻痺——テノデーシスプリントでのつまみ動作訓練
4. 正中・尺骨神経麻痺——Thomas スプリントでの把持動作訓練
5. 尺骨神経低位麻痺——環・小指深指屈筋の筋再教育

57 複合性局所疼痛症候群で正しいのはどれか。

1. アロディニア (allodynia) とは発汗異常の症状である。
2. 末梢神経に外傷があることが診断に必要である。
3. 痛覚過敏に浮腫や皮膚血流の変化を伴う。
4. 疼痛部位の使用はできるだけ排除する。
5. 経皮的電気刺激療法は禁忌である。

58 ボタン穴変形の原因はどれか。

1. Heberden 結節
2. Bouchard 結節
3. 中央索の断裂
4. 側索の背側移動
5. 浅指屈筋腱の断裂

59 上腕義手の適合検査で正しいのはどれか。

1. 口元でのフックの最大開きの効率は 30 % である。
2. コントロールケーブルシステムの操作効率は 30 % である。
3. 肘 90° 屈曲位でのフックの最大開きの効率は 70 % である。
4. 肘継手を最大屈曲させるために肩関節の屈曲が 35° 必要である。
5. 義手装着時に 20 kg で下垂負荷したときのソケットのずれが 20 mm である。

- 60 前腕切断術後の弾力包帯装着について適切なのはどれか。2つ選べ。
1. 幻肢予防の効果がある。
 2. 遠位から近位に向けて巻く。
 3. 1日のうち4、5回巻き直す。
 4. 上肢では15 cm幅の包帯を使用する。
 5. 断端周径が2、3日安定したらはずす。
- 61 上肢外傷後の治療で正しいのはどれか。
1. 肩関節前方脱臼の固定には肩外転装具を用いる。
 2. 上腕骨骨折後のVolkman拘縮はhanging castで予防する。
 3. 指屈筋腱断裂術後の早期運動療法にKleinert変法が用いられる。
 4. 示指基節骨骨折後のPIP関節伸展制限にCapenerストラップを用いる。
 5. 槌指では受傷直後からDIP関節の全可動域訓練を行う。
- 62 慢性呼吸不全患者が呼吸困難感を誘発しやすいのはどれか。
1. 両手での洗髪
 2. パソコンの操作
 3. 胸部までの半身浴
 4. 前開きシャツの着衣
 5. 椅子からの立ち上がり
- 63 糖尿病患者に対する運動で正しいのはどれか。
1. 代謝改善を目的とした運動は1日2回行うのが望ましい。
 2. 脂質代謝の改善は糖代謝改善よりも短い運動時間で達成できる。
 3. 運動習慣のない高齢者に対する運動強度は80% $\dot{V}O_2\max$ が望ましい。
 4. 運動によるエネルギー消費は1日の摂取エネルギーの40%を目標とする。
 5. 効率的にエネルギーを消費させるために運動強度を強くして短時間で行う。